

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・酒と一緒に総菜関係がよく出ている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークもあり、予想どおり忙しい月であった。
		その他サービス [レンタカー] （営業）	来客数の動き	・入域観光客数の増加により受注が増している。
		住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場客数が前月比136%、前年同月比184%と増加している。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・継続して化粧品の動向は好調、服飾雑貨が堅調な伸び、婦人衣料品は前年並みで推移するなか、呉服、美術工芸が今月はけん引している。しかし一過性なものでまだ不安定とみられる。インバウンド売上の伸びは鈍化傾向となっている。
		その他飲食[居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・例年であれば連休後は入客が落ちるが、今年は観光客が少し落ちて、逆に平日の早い時間帯における地元の若者の来店が増えた。
		住宅販売会社 （代表取締役）	来客数の動き	・当社が建築販売している分譲マンションのうち米軍人軍属向け賃貸用としての購入が、全戸数のうち約6割を占める。また投資案件としての米軍人軍属向け賃貸戸建て住宅への相談も、数年前と比較して多い状況が続いている。
		観光型ホテル （マーケティング担当）	販売量の動き	・沖縄への入域観光客数は伸びているものの、本ホテルの客室稼働率においては、前年同月実績を下回っている。3か月前に比べても悪くなっている。
	観光型ホテル （代表取締役）	来客数の動き	・はしかの風評被害が出ている。宿泊のキャンセルが出ている。	
	x	商店街（代表者）	競争相手の様子	・零細企業の集合体である商店街は、値段、集客等できているな手を使える大型店には太刀打ちできない状況であり、危機感を抱く日々である。
企業 動向 関連 (沖縄)		*	*	*
		食品品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・実際の数字が前年同期より良い実績になっている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共、民間工事共に前年よりやや増となった。
		会計事務所（所長）	それ以外	・不動産の売買市場も好景気ではあるが、逆に高額となり流通が鈍化している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量はそう悪くはないが、販売金額が低い。
	x	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		*	*	*
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数は引き続き多く、高止まり状態である。
		求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・今月の週平均件数は926件だった。2月の求人情件数と比較すると-36件と若干減少している。前年同月比だと-153件と大分減少している。
		学校[専門学校]（就職担当）	周辺企業の様子	・専門分野以外の業種企業からの求人が増えている。深刻な人材不足が顕著に出ているのが不安材料となっている。
	x	-	-	-